

平成23年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	PKD登録システム関係経費	担当部局庁	領事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	20年度	担当課室	旅券課	課長 清水 洋樹				
会計区分	一般会計	施策名	IV-1 領事サービスの充実					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第12項 外務省組織令第13条第9項 旅券法	関係する計画、 通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	IC旅券に記録されたデータの真正性及び改ざんの有無を検証するための各国の電子署名の公開鍵を集中管理するICAO PKD (Public Key Directory: 公開鍵管理ディレクトリ)に参加し、インターネット上で各国出入国管理当局及び航空会社等に右公開鍵の確実な提供を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	入国審査において日本のIC旅券の真正性を証明するためには、各国の入国管理当局に3か月毎に更新される公開鍵を配布しなければならない。右公開鍵を安全に間違いなく各国の入国管理当局に配布する仕組みとして、ICAO(国際民間航空機関)はPKDを設立し、日本は右PKDに登録している。 本PKD登録システムを利用するには公開鍵管理ディレクトリと接続するインターネット回線が必須であり、また、システムのセキュリティ保持及び機能保証のためにPKD登録システム構築請負者と保守契約を結ぶ必要がある。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の 状況	当初予算	2	2	2	2	2	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	2	2	2	2	2	
	執行額		2	2	2			
	執行率(%)		99.2%	98.9%	100.0%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	旅券は申請に基づき発給されており、その発給数は国民の申請需要に対応していることから、政策的な定量的成果目標の設定には馴染まない。なお、IC旅券の発給は、毎年1,500万人超の海外渡航者の円滑な出入国に資するものとする。右欄は暦年の海外渡航者数。		成果実績	万人	1,598.7	1,544.6	1,663.7	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国内及び在外におけるIC旅券発給数。		活動実績 (当初見込み)	冊	4,001,789	4,139,406	4,170,762 (4,087,000)	— (4,185,881)
単位当たり コスト	(0.4円/冊)		算出根拠	22年度執行額(1,788千円)÷22年度IC旅券発給数(4,170,762冊) 【参考】IC旅券関連予算全体(事業番号:62・610・612・614・626・628・629・634・636・653・666・673)で見た場合の単位当たりコストは2,400円 (=22年度執行額(10,008,147千円)÷22年度IC旅券発給数(4,170,762冊))				
平成23・24年度 予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	保守費	1,739	1,739					
	通信費	49	49					
計	1,788	1,788						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後PKD登録システムの更新等が行われる際に、使用回線種類・回線速度等の見直しなど、更に効率的な運用を目指す。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り			
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

外務省
1. 8百万円

PKD登録システムを利用するための
インターネット回線使用料及びシステ
ムセキュリティ保守

【競争性のない随意契約】

B. NTT東日本
0. 05百万円

外務省～ICAO PKD登録システ
ム間を結ぶ通信回線の提供

【競争性のない随意契約】

A. 富士通(株)
1. 7百万円

ICAO PKD登録システムのセキュリティ保持及び機
能保証のための保守契約。平成19年度に一般競
争入札にて機器の開発費用と保守費用を含め落

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)(単
位:百万円)

A.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
保守料	ICAO PKD登録システムのセキュリティ保持及び機能保証のための保守契約	1.7
計		1.7

B.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

C.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

D.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

E.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

F.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

G.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

H.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通株式会社	PKD登録システム保守・管理費	1.7	随意契約	—
2	NTTコミュニケーションズ株式会社	データ通信料	0.05	随意契約	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					